

Process HQでアプリのレポートと ダッシュボードをより速く構築する

演習ガイド

はじめに	2
ユースケース : NexGen	2
サインイン	2
演習 1: ドリルダウン付きヒートマップレポートの作成	2
ヒートマップを作成する	3
ドリルダウン レポートの作成	5
演習 2: サイトにダッシュボードを追加する	8
演習 3: AIを使用して縦棒グラフを作成する	10

権利の告知

本書はAppian Corporation (7950 Jones Branch Dr, Tysons, Virginia 22102) によって作成されました。
Copyright 2026 by Appian Corporation. All rights reserved. 本書に記載されている情報は予告なく変更されることがあります。Appian Corporationの事前の書面による許可なく、本書のいかなる部分も、いかなる形式または手段によっても複製または送信することはできません。転載や抜粋の許可を得る方法の詳細については、academyonline@appian.com宛にAppian Trainingにお問い合わせください。

はじめに

Process HQは、インタラクティブなレポートおよびダッシュボードの作成を加速し、簡素化することができます。また、Process HQを使用すると、アプリケーション提供時にレポート作成のエクスペリエンスを早期に開始し、その開発能力をビジネスユーザーへシームレスに移行することができます。これにより、継続的なレポート作成依頼への対応負担を軽減し、コアとなるアプリケーション機能の構築に集中できるようになります。

ユースケース: NexGen

NexGenは、ジム機器を供給するグローバルな流通・注文フルフィルメント企業です。NexGenは、グローバルな顧客注文、フルフィルメントセンターの在庫、およびフルフィルメントプロセス全体を通じた注文追跡を管理しています。ビジネスユーザーは多様なレポート作成ニーズを持ち、レポートを独自に構築・分析できるソリューションを必要としています。

このワークショップでは、重要なフルフィルメントメトリクスを表示するインタラクティブなダッシュボードを構築し、このダッシュボードを Process HQライブラリとともに Appianサイトに追加して、NexGenのビジネスユーザーが安全にデータを探索し、独自のインサイトを生成できるようにします。

サインイン

1. ワークショップ環境に移動してください。
2. Appian Community の資格情報を使用してサインインしてください。
3. 指示に従って、ワークスペースを取得してください。

Appian Designerには、事前構築されたアプリケーションがいくつか表示されます。以下が含まれます：

- **W#OM Order Management: これらの演習を完了するための、あなた専用の編集可能なアプリ**

重要:

ワークスペースを取得すると、プリビルトアプリのアプリプレフィックスに含まれるワークスペース識別子が割り当てられます。名前の競合を避けるため、この識別子をアプリプレフィックスに保持してください。例:



演習 1: ドリルダウン付きヒートマップレポートを作成する



シナリオ

NexGenの物流コーディネーターは、ネガティブなパターンを特定するために、グローバルな各地域における各段階 (Submitted、Packaged、Shipped) の注文数を素早く追跡する方法を必要としています。

ヒートマップレポートは、注文数をメトリクスとして運用上のボトルネックを浮き彫りにしながら、ステータスと地域という 2つのディメンションの関係を可視化するのに最適な選択肢です。

ヒートマップを作成する

注文ステータスを一方の軸、注文地域をもう一方の軸とするヒートマップレポートを作成します。レポートには、完了済みの注文は含まれません。

1. Appian Designer の [Applications] ビューで、アプリケーション W#OM Order Management (W#OM) を開きます。
2. [構築] ビューに移動します。 
3. [新規] > [報告書] をクリックします。
 - **[名前]: W#OM Orders by Region and Status と入力します。**
 - 「#」を4桁のワークスペース番号に置き換えてください。
 - **[説明]: 次のように入力します。**

Heatmap showing count of orders by geographical region and order status. Excludes completed orders.
 - **[オブジェクトタイプ]: [レコードタイプ] を選択したままにします。**
 - **[レコードタイプ]: W#OM Order を選択します。**



注記

レポートは、レコードタイプのデータまたはビジネスプロセスのデータに基づいて作成できます。レコードタイプのデータに対するレポート作成には、データカタログに表示されるようにレコードタイプが設定されている必要があります。ビジネスプロセスのデータに対するレポート作成には、まず Process HQ でビジネスプロセスが作成されている必要があります。詳細については、Appian ドキュメントを確認してください。

4. [作成] をクリックします。
5. デフォルトのセキュリティオプションはそのままにして、[保存] をクリックします。

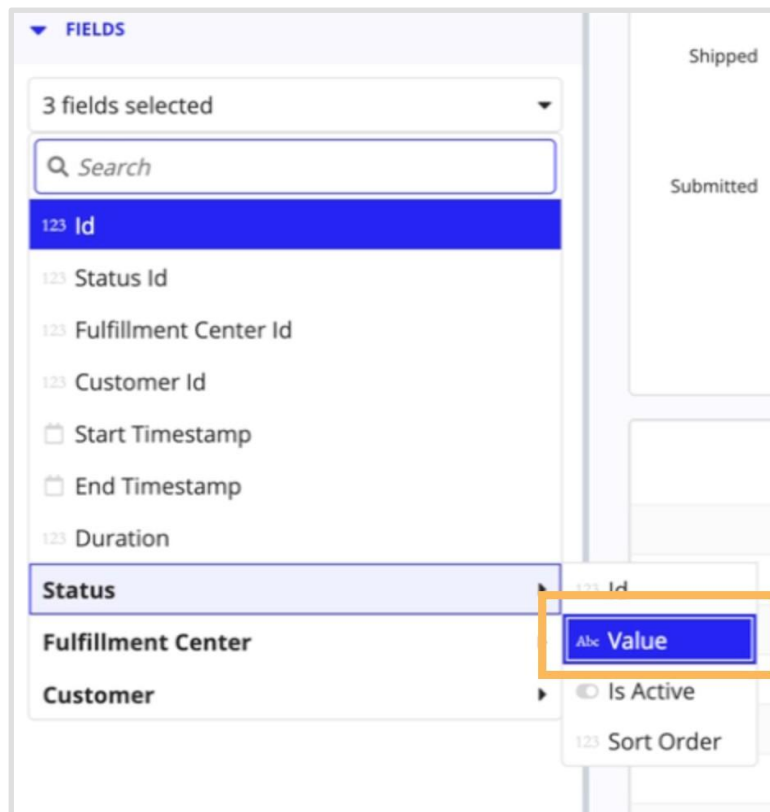


ヒント

Process HQ では、ユーザー設定でライトモードとダークモードを切り替えることができます。ナビゲーションバーのアバターをクリックし、[設定] を選択してください。このガイドのスクリーンショットはライトモードで撮影されています。

6. 左側のペインの [フィールド] で、ドロップダウンを使用して以下のフィールドを選択します (レコードのリレーションシップをたどって移動する必要があります)。

- **Id**
- **Status > Value**
- **Fulfillment Center > Region > Value**



7. 右側の [デザイン] で、次の操作を行います。

- [ヒートマップ] を選択します。
- [グリッドの表示] の選択を解除します。



シナリオ

現在、ヒートマップにはすべてのステータスの注文が表示されています。ステータスが「Complete」の注文は、もはや対応が必要なく、完了した注文の数は時間とともに増加するため、表示する必要はありません。

8. 左側の [データセットのフィルター] で、[データセットフィルターの追加] をクリックします。

9. データセット フィルターの追加ダイアログで [データセット フィルターの追加] をクリックし、以下のプロパティを設定します。

- [フィールド]: **Status > Value** を選択します。
- [演算子]: [次と等しくない] を選択します。
- [値]: **Complete** と入力して選択します。
 - 「Complete」という単語を入力し始めると、候補からそれを選択することができます。

Add Dataset Filters

☒ All filters must be true ☐ At least one filter must be true

Field	Operator	Value	
Status Value	Does not equal	Complete	ABC ✕

➕ Add Dataset Filter

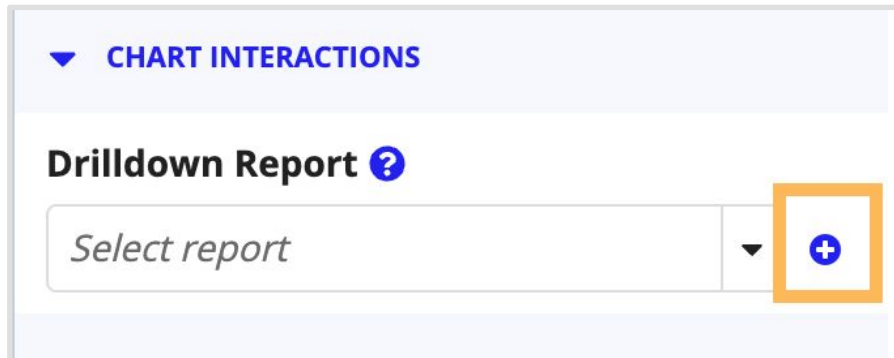
CANCELADD

10. [追加] をクリックします。

ドリルダウン レポートの作成

各フルフィルメントセンターの注文数を表示する棒グラフを作成します。前の演習で作成したヒートマップのドリルダウンレポートとして使用する場合、棒グラフはヒートマップで選択された地域とステータスのみが含まれるように自動的にフィルタリングされます。

1. 右側で、[チャートのやりとり] まで下にスクロールします。
2. ドリルダウンレポートのドロップダウンの横にある + アイコンをクリックします。



3. ダイアログ内で、以下のプロパティを設定します。
 - **[名前]: W#OM Orders By Fulfillment Center と入力します。**
 - 「#」を4桁のワークスペース番号に置き換えてください。
 - **[説明]: 次のように入力します。**

Bar chart showing count of orders by fulfillment center.
4. [作成] をクリックします。
5. 新しいレポートの左側にある [フィールド] で、Fulfillment Center > Value を選択します。
6. 右側の [デザイン] で、次の操作を行います。
 - [バー] を選択します。
 - [グリッドの表示] の選択を解除します。
7. [バーグラフの設定] で、以下のプロパティを設定します。
 - **[Y 軸 (バーのカテゴリ)]: Fulfillment Center Value を選択します。**
 - [レジェンドを表示] の選択を解除します。
 - [データラベルを表示] の選択を解除します。



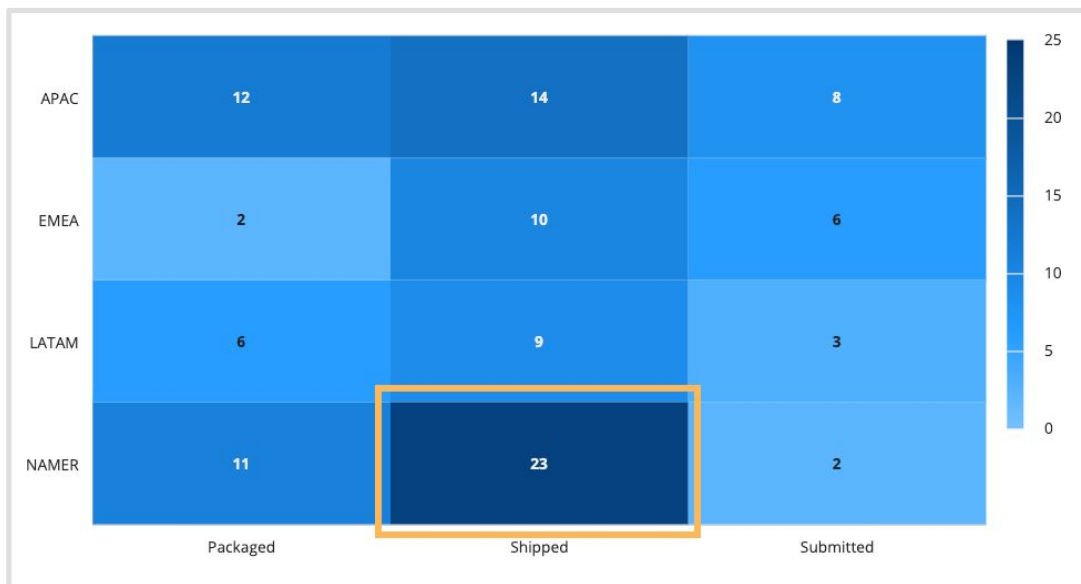
注記

この時点では、棒グラフは混み合って見えるかもしれません。現在、すべてのフルフィルメントセンターの値が表示されています。ただし、ヒートマップチャートのドリルダウンとして使用した場合、ヒートマップで選択された地域とステータスに該当する注文があるフルフィルメントセンターのみが自動的にフィルタリングされて含まれます。これについては、すぐに確認できます。

8. [保存] をクリックします。

次に、バーグラフレポートの設定をテストして調整します。

1. バーグラフのタブを閉じずに、ヒートマップレポートに戻ってください。
2. ヒートマップの、**NAMER** 地域と **Shipped** ステータスが交差する部分をクリックします。



- **Status Value** と **Region Value** のフィルターが適用されたバーグラフが表示されます。
3. バーグラフのあるタブに戻ってください。
 4. 左側の [フィールド] で、以下のフィールドの表示名を編集します。
 - **Status Value:** 表示名を **Status** に変更します。
 - **Region Value:** 表示名を **Region** に変更します。
 5. [保存] をクリックします。
 6. ヒートマップレポートに戻ってください。

7. ヒートマップの **NAMER** 地域と **Shipped** ステータスが交差する部分をもう一度クリックします。
今回は、更新された表示名でフィルターが表示されます。
8. **[保存]** をクリックします。

演習2: サイトにダッシュボードを追加する

サイトオブジェクトにダッシュボードを追加します。ダッシュボードは、[Build] ビューから、またはサイトオブジェクト自体から直接作成できます。

1. アプリケーションの [構築] ビューに移動し、W#OM Order Fulfillment Management サイトを開きます。



注記

ページの下に、Reporting ページがあります。このページには、レポートとダッシュボードライブラリが設定されています。このライブラリにより、ビジネスユーザーは開発者と同じツールを使用して、サイトから直接レポートとダッシュボードを作成できます。

2. [ページ] で [ページの追加] をクリックし、以下のプロパティを設定します。
 - **[タイトル]:** Order Management Dashboard と入力します。
 - **[タイプ]:** プロセス HQ – ダッシュボード を選択します。
 - **[コンテンツ]:** + アイコンをクリックして、新しいダッシュボードを作成します。

Content

--- Select a dashboard ---



3. ダッシュボードを作成ダイアログで、以下のプロパティを設定します。
 - **[名前]:** W#OM Order Management Dashboard と入力します。
 - 「#」を4桁のワークスペース番号に置き換えてください。
 - **[説明]:** 次のように入力します。

Dashboard showing reports and KPIs for orders.
4. [作成] をクリックします。
5. 左側の [作成者: 自分] に、作成したレポートが表示されます。レポート W#OM Orders by Region and Status をクリックしてダッシュボードにドラッグします。

6. 左側の [すべて] に、このワークショップ用に事前設定されたレポートが表示されます。これらもダッシュボードにドラッグし、自由に配置します。

- **W#OM Quarterly Completed Orders: 今四半期に完了した注文数を示す KPI。**
- **W#OM Average Order Duration by Order Count per FC: 各フルフィルメントセンターの注文数と注文処理期間の関係を示す散布図。**
- **W#OM Customers by Region: グローバル地域別の顧客の割合を示す円グラフ。**
- **W#OM Critical Inventory: 在庫が危機的な水準にあるアイテムを表示するグリッド。**

7. 左上の [ダッシュボードフィルターの追加] をクリックし、以下のプロパティを設定します。

- **[ディスプレイネーム]: Region と入力します。**
- **[W#OM Orders データセット]: Fulfillment Center > Region > Value を選択します。**

8. [追加] をクリックします。



ヒント

ダッシュボードフィルターを使用して、ダッシュボード内のすべてのレポートをすばやくフィルタリングできます。ダッシュボード上のレポートで使用される各データセットについて、フィルタリングするフィールドを選択してください。

9. [保存] をクリックします。

10. サイトオブジェクトに戻ります。

- 引き続き ページの追加ダイアログが表示されているはずです。

11. [追加] をクリックして、ページをサイトに追加します。

12. [保存] をクリックします。

13. サイトを開いてダッシュボードをプレビューします。サイトは、[Web アドレス] の下のリンクをクリックするか、ナビゲーションメニューを使用して開くことができます。



ヒント

サイトにダッシュボードまたは Process HQ ライブラリを追加する際、サイトのブランディングを適用でき、ページをライトモードまたはダークモードのどちらで表示するかを選択できます。

演習3: AIを使用して縦棒グラフを作成する



シナリオ

NexGenのビジネスユーザーは多様なレポートニーズを持っています。開発者を介さずに、自分たちのレポートとダッシュボードを迅速に構築する必要があります。

この演習では、ビジネスユーザーとして、Process HQ ライブラリの AI Copilot を使用してレポートを構築します。

1. サイト内で、Reporting タブに移動します。
2. 右側のペインで、AI Copilot を使用して新しいレポートを作成します。
 - チャットフィールドに「Line chart showing average order lifetime per month, broken down by region.」と入力します。



ヒント

AI Copilot チャットのウィンドウを拡大すると、レポートプレビューをより詳しく確認できます。

要求されたデータを示す折れ線グラフのプレビューが表示されます。AI Copilotを使用して、レポートスタイルを縦棒グラフに変更できます。

1. AI Copilot のチャットフィールドに、次のように入力します。
Change to column chart.
2. [OPEN REPORT] をクリックします。

次に、レポートの設定を続けます。

1. チャートの下グリッドで、**Duration** 列のコンテキストメニューアイコンをクリックします。次に、**[形式の値]** を選択します。



Id COUNT	Duration SUM	Region Value GROUP
7	7.00	APAC
8	23.00	APAC
7	9.00	APAC
4	11.00	APAC
6	9.00	APAC
4	5.00	APAC
7	13.00	APAC

2. ダイアログの **[小数位]** で **0** を選択します。
3. **[アップデート]** をクリックします。
4. 右側の **[レポートフィルター]** で、フィールド **Start Timestamp** を選択します。
 - **Start Timestamp** というラベルのフィルターがチャートの上に表示されます。



注記

レポートフィルターは、レポート閲覧者がレポートデータをすばやく絞り込むためのものです。これは、レポートに含めるデータを決定するデータセットフィルターとは対照的です。

5. 左側の **[フィールド]** で、**Start Timestamp** フィールドの表示名を編集します。これにより、レポートフィルターの名前が更新されます。
 - **[表示名]: Order Date** と入力します。
 - **[わかりました]** をクリックします。
6. 右側の **[リファレンスライン]** で **[基準線を追加]** をクリックします。次に、以下のプロパティを設定します。
 - **[ラベル]: Target** と入力します。
 - **[価値]: 2** と入力します。
7. **[保存]** をクリックします。

8. **W#OM Order Management** アプリの [構築] ビューに戻ります。新しいレポートは、アプリケーションのデザインオブジェクトの中には表示されていません。
9. [アプリケーション] ビューに移動し、次に [オブジェクト] ビューに移動します。
10. [オブジェクトタイプ] でレポートを選択します。
 - ここに新しいレポートが表示されます。
11. オブジェクトリストでレポートを選択し、[セキュリティ] をクリックします。
 - 自分には「管理者」権限が付与されており、他のすべてのユーザーは「アクセス不可」になっています。



注記

Appianデザイナーでレポートとダッシュボードを作成する場合、他のオブジェクトと同様のフローに従います：

1. オブジェクトを作成します。
2. 名前と説明を付けます。
3. セキュリティを設定します。

ただし、**Process HQ**ワークスペースまたはサイト内の **Process HQ**ライブラリを使用するビジネスユーザーは、本番環境のアプリケーションにオブジェクトを追加すべきではありません。したがって、ビジネスユーザーが作成したレポートとダッシュボードはアプリケーションに追加されません。デフォルトでは、オブジェクトのセキュリティは、レポートの作成者と、作成者が共有した相手のみがアクセスできるように設定されます。



おめでとうございます。このワークショップを修了しました。